

城沼市民プールについて



篠木 正明 議員



質問 子ども議会でスライダーの再開など城沼市民プールの改修を求める質問がありました。この声をどう受け止めていますか。

割や必要性を、どう考えていますか。

回答 水泳競技の普及、競技力の向上や市民の憩いの場を担ってきたと思います。

質問 城沼市民プールの改修について、どのように考えていますか。

回答 夏休みに、家族や友達と気軽にプールを利用したいと望んでいると認識しています。

質問 城沼市民プールの役

回答 現施設を造り直したり改修するには20億円を超

える費用がかかることや年間経費が2000万円以上かかるため、最終的には廃止の方向で考えています。

質問 城沼市民プールは、公共施設等全体個別施設計画で政策的評価は高いとされています。また、必要性はあると次長は答弁しました。必要性があつて、政策的評価が高いものは、お金がかかっても残さなくてはならないのではないですか。

回答 スポーツ施設には、ほかにも改修をしなければ

ならないものもあり、ほかにも優先順位の高いものがあると判断しています。

質問 優先順位で廃止するのか、すぐにはできないけれど施設の維持継続に向けて計画を立てるのか、大きな違いがあります。城沼市民プールは年間2万人以上が利用し、その内の6割が市外の人です。交流人口の創出に貢献している効果を見た上で判断すべきです。維持継続に向けた計画を立てるべきではないですか。

回答 計画を見直した方が良いのではとの質問だと思いますが、すぐに結論が出るものではありません。公共施設等総合管理計画の中で出た廃止という結論です。なので、それを優先させていただきますと考えています。そして、今のプールをできるだけ長く使えるように努力していきたいと考えています。



搾乳ができる環境整備と地域コミュニティに対する取組について



平井 玲子 議員



搾乳ができる環境整備

質問 市役所市民ホールに、昨年度、ユニット型の授乳室が設置されましたが、この授乳室の現状は。

利用がありました。センサーにより利用状況の確認ができ、コンセントも付いてい

質問 行政区の加入率は。約8割という加入率ですが、未加入世帯の増加などにより、少しずつ低下している状況です。

回答 主に、市と区長さんとの連絡手段について進めています。今後も区長さんの業務負担の軽減を図り、成り手不足解消の一助となるよう、さらにデジタル化を進めていきたいと考えています。

質問 総務省が勧める地域交流アプリ等を活用し、地域コミュニティの課題をデジタル化によって解決できないか。

回答 自治会等の役員や市町村職員の負担軽減の可

回答 授乳用ユニット「ママロ」は、お母さんとお子さんだけでなく、上のお子さんも連れて入ることが可能です。1年間で139人の

質問 市内公共施設の授乳室において「搾乳できます」マークを活用し、授乳室でも搾乳ができることが分かるように掲示できないか。

質問 行政区に対するデジタル化について、現在行っている取組は。

回答 主に、市と区長さんとの連絡手段について進めています。今後も区長さんの業務負担の軽減を図り、成り手不足解消の一助となるよう、さらにデジタル化を進めていきたいと考えています。

回答 計画を見直した方が良いのではとの質問だと思いますが、すぐに結論が出るものではありません。公共施設等総合管理計画の中で出た廃止という結論です。なので、それを優先させていただきますと考えています。そして、今のプールをできるだけ長く使えるように努力していきたいと考えています。

